別添資料5

児童発達支援事業所における自己評価結果（公

公表：2022年　2月　19日　　事業所名　児童発達支援　ぱうわう

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		パーテンションで個室も作成	個室が狭いため、広くできないか検討中
	2	職員の配置数は適切である	○		利用者10人に対してスタッフ5～6人	遠足時はスタッフの人数が多くなります
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○	子どもの成長の早さと支援の内容に食い違い生まれています。	子どもの成長に合わせた支援に対応するため、気になったことは共有しやすい体制を用意する。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている		○	工作好きな子どもが増えて、はさみの同時利用が心配	工作場所を限定し、工作BOXを用意してつねに安全確認の声を出して行う。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		毎朝のミューティングを行っています。	ミーティングでは一人ひとりが自由に意見を 言い、支援の仕方や活動の進め方等を話し合います。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者向け評価表を活用し保護者の方の意向の把握に努めています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページで公開しております・	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後検討をします。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的な研修を行っています。	希望者には、移動支援の研修などを受講してもらいガイドヘルパーとしても働いています。
適切な支援の	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		送迎時に報告を行い、また相談も受け付けています。	必要に 応じて利用者が発達センターや医療機関で行った検査結果をお持ちいただき発達状況を把握しています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		発達検査票の見方の研修を行っている。	医療機関からの発達検査を検討して支援に取り組んでいます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		家庭連携や地域連携、学校連携も行っています。	行政からの会議や学校からの会議の要請にも参加して、子どもの支援に取り組んでおります。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		相談支援専門員も常駐	相談支援事業所とも連携しています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		ローテンションで作成	マンネリにならないように交代で考えたり、ネットや本での勉強会もしています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
提供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		その瞬間その瞬間の成長に合わせています。	状況に応じて臨機応変で対応しています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝ミューティングを行う	30分から60分の会議を行い、支援グッズの作成もしています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		帰り送りのスタッフにはグループLINEで共有	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録を振り返りとして活用	データ化することで次の支援に利用しています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		モニタリング結果を保護者とも共有しています。	相談支援事業所とも連携しています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		気になる児童はこちらから積極的に相談しています。	児童発達管理責任者が参加するようにし、各機関との情報の共有や支援の方向性を考察し、当施設内での会議で共有しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		気になる児童はこちらから積極的に相談しています。	
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		気になる児童はこちらから積極的に相談しています。	
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		てんかん研修などを行う	てんかんの利用者がいますので、緊急連絡先や発作時の観察記録（録画）などの準備をしています。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		教育機関との連携をしています。	園の支援の先生や、園長先生との情報共有を行っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		親御様の希望であれば学校に報告書をお渡ししています。	定期的な報告書に加え、会議にも参加をしております。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		コロナ過のため研修はYouTubeなどの動画で済ませています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		コロナ過のため現時点では中止しています。
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			コロナ過のため開催が減少していますが、情報交換をしています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時に情報交換しています。	LINEなどを使い、活動中の写真などの報告をしています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○		電話での相談や、ご自宅に訪問しての家庭連携をしています。	コロナ過のため、電話での相談に切り換えています。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		しております。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		同意を得るために、親の意見も取り込んでおります。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		気になることがあったら施設側からの連絡をしています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		コロナ過で今年は不開催でした。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		送迎時に相談対応しています。	緊急時は夜間（22:00まで）でも相談対応しております。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ホームページやブログで情報発信しております。	子どもから、ブログに載せてと言われるような子ども中心の楽しい活動もしております。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		写真掲載許諾書をいただいています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		視覚障害がある方にはタブレット使っての連絡	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		コロナ過で今年は不開催でした。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		子どもも参加できる防災ゲームなど工夫をしています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		食料の備蓄	3カ月に1回の防災訓練
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		記録用の動画撮影	医師からの対処方法　てんかん薬の管理をしています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		おやつ箱にアレルギーファイルをおいています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		定期的な研修を行っています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		児童相談所と連携	大阪市の虐待SVや弁護士と連携
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○	文書にて確認書を作成しています。	現時点では身体拘束が必要な児童はいません。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。